

<熊本地震発生の概要>

- 平成28年4月14日21時26分頃に熊本県熊本地方でマグニチュード(M)6.5の地震(前震)が発生。
- その後続いて4月16日1時25分頃に同地方でM7.3の地震(本震)が発生。
- それぞれの地震において熊本県で最大震度7を観測し、気象庁は、これらの一連の地震を「平成28年(2016年)熊本地震」と命名。

<国総研の初動体制>

- 国総研は、前震発生(4月14日21時26分頃)と同時に非常体制に入り、深夜にかけて災害対策本部会議を開催。(以降、計22回の災害対策本部会議を開催)
- 国総研、土木研究所、建築研究所、港湾空港技術研究所は、被害情報並びに現場及び本省からの要請等を共有するとともに連携を図り、専門家派遣を翌朝から行う体制を固めた。

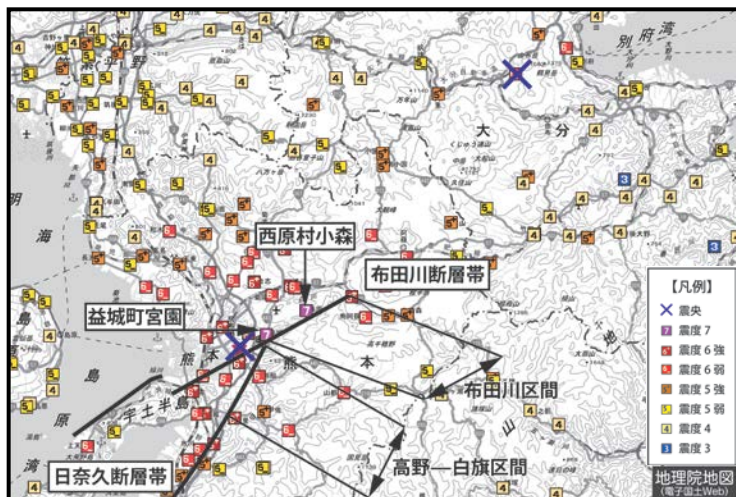


図-1 本震(M7.3)の震央位置と震度分布
 ※本震直後に大分県中部で発生した地震(M5.7)の震央も記載



本省非常災害対策本部会議と並行して開いた災害対策本部会議の様子(4月15日未明)